

あくね



8 月
No. 221

国道二号線を診断

交通事故昨年の四倍



(赤瀬川陸橋入口での診断風景)

赤瀬川の陸橋入口付近では、今年二件の交通事故が起きています。ここは、朝など阿久根農高校・普通高校・小中学校児童の通学時は、たいへんな交通量です。おまけに坂になっていて、車もスピードを出しがちなところであります。

まず大川島と牛之浜間ですがここは今年すでに六件の事故が起きています。

そのほとんどが居眠り運転・スピード違反など車だけの事故です。

地元側は、カーブにガードレールをつくってほしいと要望しました。

建設省として、他にもガードレールをつくる予定だから、ここにせびつくりたいとのことでした。

七月二十三日、南日本新聞社主催で、市・県警察本部・阿久根警察署・国道事務所・交通安全協会・地元の小学校長・区長・婦人会長なども立会い、交通診断が行なわれました。

阿久根が選ばれたのは、阿久根の交通事故が今年急増し、昨年同期(六月まで)の四倍にもなったからです。

事故が起りやすい大川島附近と、赤瀬川陸橋入口・大林のカーブの三方所で現地診断しました。



阿小校長は、最近この付近に市営住宅の団地ができ、小中学生が安心して通れる横断歩道をつくってほしいと。

また、阿久根警察署長もこれに賛意を示し、県警察本部に対し、小学校の下級生や保育所などの幼児が渡れずにいるので、四〇キロのスピード制限区間を、国道事務所附近まで延長してほしいと、重ねて要望しました。

最後に県警察本部から市街地の国道の駐車禁止について善処してほしいと要望がありました。

地元の警察署長は、思ったより地元の反対が多いので、白河地区をもうけるなど、地元ともよく話し合いたいと答えました。

また、ガードレールに物を干さないようにしてほしいと要望がありました。

これに対し、県警察本部は、横断歩道はせびつくりたい。スピード制限距離の千メートル延長も、至急申請してくれ、実現させたいものだ、好意的な回答がありました。

なお、これと同時に市の南側地区スピード制限地区を、全国調査前まで延長することを上申するように申し合いました。

大林カーブは、陣之尾峠にかかる前の大林部落にはいる附近のカーブで、今年四件の事故が起きています。地元側は、下りは自転車でも見通しがきけないので、車道のはばを広げてほしいと要望しました。

国道事務所としては、道路の基準でつくってあるのでせまいのではなく、スピードを出しすぎるのではないかと思えます。しかし、側柱は一メートルぐらい広げられるでしょうと答えました。

最後に県警察本部から市街地の国道の駐車禁止について善処してほしいと要望がありました。

地元の警察署長は、思ったより地元の反対が多いので、白河地区をもうけるなど、地元ともよく話し合いたいと答えました。

また、ガードレールに物を干さないようにしてほしいと要望がありました。

また、ガードレールに物を干さないようにしてほしいと要望がありました。

水とろのにおい

夏場はとくに水筒にいやなおいがつきやすいものです。

使う前に熱湯で洗うのもいいようですが、一度米のとぎ汁で洗うことを試してみてください。

とき汁をしぼらういれおいてから、ふり洗をして、そのあと水でよく洗います。そのとき、洗ったあと、じゅう分水気

ムリ



夏目漱石が大学で講義中、片腕をふところ手してノートをとっている学生をみつめ、どなりつけました。ところが、その学生は片腕がなかったのです。すっかりテレタ敵石は「僕だって無い智慧を出して講義しているのだから、君だってない腕を出してくれたまえ」。

涼しくらし

このごろは、農家の生活も都会のそれに劣らずいわゆる文化的になってまいりました。

むしろ、有線電話・簡易水道・電機製品の普及など、都会のヘタなサラリーマンなど、及びもつかぬほど楽しい生活をしてもらえるところもあるでしょう。

季節の話題

庭で、夕飯などを家族みんなで楽しんでみてはいかがでしょう。問題は、虫が多いことでしょう。集が燈があればこれにこしたことはありませんが、けい光燈のスタンドを代用したり蚊を防ぐため、蚊やり火をたくとか、蚊取り線香をとますかすれば、だんらんの時が過ぎませしょう。こうした戸外での食事は、農家ばかりでなく、市街地のかたがたにもおすすすめいたします。



暑い暑い八月、家庭にいる人、職場の人たち、そして目下夏の休暇を満喫している子どもさんたちも、じゅう分健康に気をつけて、この夏をのり切りしたいものです。

十五日は終戦記念日、わたくしたち日本人は、こぞって、あの戦争でなくなつたかたがためのい補を祈りましょう。

食生活の研修から

農村花嫁講座始まる

市では、農業の他産業との格差をちぢめようと、かねてからつぎの農村三作運動を続けてきました。

仲間づくり 新しい農業者の仲間をつくらう。

物づくり 商品性の高い農作物をつくらう。

環境づくり 作りよき環境をつくらう。

その仲間づくりの一つとして、こんど農村にとどまっている若い女性の花嫁講座(農村女子青年生活講座)を、七月二十三日、阿久根農校のご好意により、同校で開講しました。

出席したのはつぎのかたがたで、フオークダンスなど習い、楽しいひと時を過ごしました。

竹原ゆきえ・竹原真紀子

夏のかぜは、なかなかおりにくいものです。かぜをひくのは、汗ばんだり、寝寝をしたり、夕方、涼しい風が吹きこむ部屋で、はだかでしたりすると、ひきこむ場合が多いようです。

夏かぜや寝ひえを防ぐには、かならず、寝こんでも



空気に皮ふをさらさないように、適当な衣類をまとうことが、まず第一です。小さなお子さんは、やはり両親が気をつけてあげるほかにありません。

食中毒は、まだまだ気をつけなければなりません。とくに魚や肉類は、少しでも変だなと思つたら、絶対に食べ

ないことです。

汗でよごれた衣類は、汗がにじんだ衣類は、すぐ水につけるのがいちばんです。上等の衣類は、しぼったタオルではさむようにして、両手で軽くたたき、タオルに汗を吸いとらせるようにしてから、ぬれた部分とのさかい目には、きり吹きで吹いて、別のかわいたタオルで水分をとるよう

にすれば、変色しません。また、色ワイシャツ類もえりとか袖口が変色しやすいものです。あまり安い品も変色しやすいので、かえて安物買いのせにうしなひになりかねません。

おいしい魚

スズキという魚は、いまがおいしいときです。サシにも塩やきにもよいです。この魚は、小さいときは

セイブ、それからフッコと名前がかわりますが、五十センチぐらいになると、スズキと呼ばれています。

野菜では、キャベツやサトイモが出てきます。果物では、スイカは最盛期をすぎますが、モモとか早生リンゴ、ブドウなど、八月も半をすぎると、秋の味覚のはしりもので、楽しい気分になります。

段・小園和子(園田)

この講座は、毎月一回、来年の三月まで続けられます。この開講式に出席できなかったかたでも、今後出席されたいかたは、市役所の農業構造改善事務局までお申し込みください。



(勢揃いした花嫁講座のみなさん)

今後のスケジュールは、八月 総合―新しい農業生活の習得習得・団体生活のありかた・共同炊事。

一般教養―農村女子青年のありかた・フオークダンス衣いせいの種類とその特徴。被服整理に考えなければならぬこと。

九月 食―食生活の習得と実際。

十月 食―農繁期を元気で過ごすふう。保存食の作りかた。

十一月 衣―自分の好きな作業衣をつくってみる。

十二月 農政―農村社会の現状と問題点。

衣―作業衣の検討、防寒靴のつくりかた。

一月 食―献立作成・冬期日常食の実際。

総合―農村青年との意見交換会。

二月 衣―器具について、ふとんわたのいれかた。

三月 食―簡単な洋食のつ

くりかた。洋食のマナー。開講式―今後の連絡

出席したかたはこもごもつぎのとおり話っています

小園和子さん

わたくしの部落には若い女のかたがいないのでさびしかったが、出席してこんなに仲間が多いことを知ってうれしくなり、とても心強くなりました。今後出席したいと思えます

鶴園敏枝さん

家で習えなものがあつたので知っていたらと思つて、喜んで出席しました。最初はなんだかかわかつたけれども、フオークダンスを習っているうちに、うちとけてきました。出席してないかたにも呼びかけ、みんなで大いに習得を広めたいと思います。



お盆は

八月の十四・十五日

阿久根市新生活運動推進協議会では、お盆にさきだち、つぎのように申し合えました。

- お盆は、新暦の八月十四日、十五日にいたします。
- 祖先の霊に感謝し、家族そろって、お墓参りしましょう。
- 「とうろう」は、近親者だけで贈りましょう。
- 法事や料理は、簡単にすませましょう。
- お中元は、はでにならぬようにしましょう。

第二次自衛官募集

ただ今、次の要領で、昭和四十年第二次自衛官募集が行なわれています。

採用予定の月現在で、一八歳以上二五歳未満の男子で、中学校卒業程度の学力のある人。

●試験科目
国語・社会・数学・体格検査・口述試験。
●募集期間
昭和四〇年九月まで。

この事務については、市役所の市民課でとり扱っています。

転入届は早目に

転入・転居の届出は、住民登録法により、一四日(二週間)以内にすることになっています。

住民登録は、市の行政の基礎となるばかりでなく、みなさまがたにとっても、印鑑・居住・扶養証明など

をとる場合に、絶対必要なものです。

転入・転居されるときは早目に届出てください。

心に火をたく運動

市立図書館では、「心に火をたく献本運動」をおし進めています。

つぎのかたがたがご寄附くださいました。
神川光子(木町) 五、〇〇〇円
塩福岩雄(療養所長) 二、〇〇〇円
二見 弘(阿高校長) 五〇〇円
上松次雄(タイ国在住) 一〇、〇〇〇円

なお、第一回献本寄附金で、つぎの圖書を購入し、寄贈を受けました。
日本古典物語全集 三〇冊
世界推理小説文庫 二〇冊
目で見る世界の歴史 八冊

お知らせ

ただ今せり

いよいよ夏の伝染病が発生する時期になりました。

みなさまがたが環境衛生予防衛生にご注意くださうたおかげで、今年の夏は、当市に一人の伝染病患者も発生していません。

だからといって油断はなりません。食中毒や伝染病予防にご注意くださうた。

か、造林地の草がのびています。今が夏山手入れの最期です。

いそがしいでしょうが、計画をたてて夏山手入れを実施してください。新しく植林された山は、今下刈をしないと枯れてしまいます。みなさん、山を見て回ってください。すると、

どんなにいそがしいがたでも、草にうもれた苗木をみると、自然にカヅラを切つてやりたくなるものです。

香典返しご寄附

●鷗川内宮原の宮原広志さんは、ご尊父金助氏の死去に際し
金 一封

●脇本深田の松木アサノさんは、ご主人薫氏の死去に際し
金 一封

●大丸町の盛栄カメさんは、さきに大島で水難死された長男貞昭さんの忌明けにあたり
金 三万円

もしちよつとでも具合が悪くなったら、早目に医者の方の診断を受けましょう。

市の保健衛生課では、衛生自治会と協力して、八月十五日から二十日までの間に、市内数カ所を巡んで、衛生診断を行ないます。

一家一引る明



お年寄りを大島に招待



上松さん象を贈る

当市の上野出身で、タイ国のバンコクで活躍中の上松次雄さん(50歳)は、このほど整参に帰国、市長を訪ね、市役所と阿小に象の置物を贈りました。

南国交通では、七月二十日、聖園老人ホームのお年寄りを、大島に無料招待しました。
島では、南国交通職員が、島でただ一つの乗り物「大島タクシー」(リヤカー)で出迎え、鹿児島から呼び寄せたガイドさんの案内で、歌やおどりなど、一日を楽しくきやかに過ごしました。
なお、特別にこの催しに、市内の愛好歴さんと上三垣さんから、お菓子などの贈物もありました。

農業ダイヤル

畜産の総合施設 畜産近代化施設の解説

畜産の総合施設（センター）は各地につくられ、その成果をあげています。このセンター設置も、農業構造改善事業で補助の対象になります。

経営改善が先き

「畜産物の需要と生産の長期見通し」によると、畜産物の需要と生産は、大きく増加することが見込まれています。

しかし、畜産は、従来からの習慣で、一般耕種農業の附属部門にしか扱われていません。

したがって、家畜の飼養管理技術、生産物の処理集出荷の方法は、旧態依然として改められていません。

これが畜産振興の足を引っばっている原因ではないでしょうか。

畜産の有利な面のみが強調されるために、頭数だけが增加して、技術の改良普及、流通の合理化、経営の改善などが伴わないので、機械的畜産だけに終わり、収益も満足に得られないこととなります。

センターの目的は

当市においても畜産を差幹作目にとりあげて、農業

構造改善事業を実施する地域がでくると思われます。その場合は、先月号で解説した畜産近代化施設のうち緊急度の高いものを有機的に総合的に関連させて施設することになります。

畜産物の生産から出荷・処理・販売・技術の改良普及・経営の改善をはかり、商品生産としての畜産の近代化をはかることが、畜産センター設置の目的でもあります。

積極的意欲が必要

畜産センターは、市または農協が、畜産主産地形成のための拠点として、畜産物の生産・出荷・処理・販売・技術の改良普及・経営の改善等のために設置する

多目的の畜産総合施設で、地域のみならず積極的意欲があつてこそ実現する地

有利な場所に設置

畜産センターの中に設置される共同利用施設については、先きに解説した近代化施設の範囲のものです。

具体的な関連性の乏しい施設を、単に一カ所に寄せ集めたものであつては、有機的な関連性を持たせた総合的な効果は期待できません。

いま、肉豚の一例を示しますと、自給飼料生産施設・自給飼料調整貯蔵施設・種豚舎・育成豚舎・家畜管理所などとなります。

畜産センターを設置する場所は、交通・電気導入・飲用水利に便利なところに

家畜防疫や公衆衛生上のことも考えて選定する必要があります。

また、畜産センターは、家畜の種類・地域の条件・

主産地化の目標等によってそれぞれ設置する場所、建物の種類、機能、規模などが異なることはいうまでもありません。

指導体制が必要

市が畜産主産地をすすめてゆくにあたって、従来の零細な副業的経営農家を解消し、酪農養豚等の専業経営農家を育成してゆかねばなりません。

この場合、少頭数飼育の場合と異なつて、家畜衛生飼料生産・家畜の飼育管理生産物の処理出荷の面で、近代化された組織とすぐれた指導体制が必要となります。

畜産センターは、畜産農家の要求にこたえて、みなさまがたに広く利用されるよう、目的にそつて、活用させることが大切でしょう。



読書が何より好き

白木尾の須太伊都さん

伊都さん（45歳）は読書がとても好きな農村のご婦人です。しかし、環境的に恵まれているわけではありません。

伊都さんがご主人とともに、白木尾開拓団に入植したのは、昭和27年の1月でした。そうして、昭和31年10月には、柱と頼むご主人（戦前熊本県警勤務）が亡くなりました。

性来読書好きで、とくに歴史物に興味をもち、女学校時代に古事記や日本書記を読みました。

入殖後農業には素人なので、農業に関する習識を得ようと思ひ、また、病床のご主人に面白い本を読ませたい気持ちから図書館通いをはじめたのが、そのやみつきでした。

ただ今、市立図書館を大いに利用し、いろいろな本を読んでおられます。

現在、ご子息の秀俊さん（23歳）が一家の柱となつて、畑8反、生産豚2頭、養蚕に精出しています。

秀俊さんは、高校に進学できなかったのを残念に思ひ、鶴丸高校の通信教育を受講中で、すでに4年勉強、卒業にあと一息のところまで。

若い農業後継者の希望は、養蚕を中心にして、肥育牛を5頭にふやしたいそうです。また、伊都さんは、読書の心算をつぎの歌にたくしています。

喜びも悲しみも分つ夫逝きて
ただ書物読みて心なくさむ

農村三作運動 論文募集

農村三作運動は、どのようにして、具体的に実践運動をすすめたらよいかを内容とした論文を募集しています。

八千字程度で、八月二十一日まで、県の農政課にご提出ください。

- 一等 五万円 一点
- 二等 三万円 二点
- 三等 一万円 三点

の賞金ができます。市の農業構造改善事務局にお問い合わせください。

おくやみ（6月分）

中野	志願86	大川	方子
川畑	伝助91	大川	チエノ
酒田	波津89	大川	辰男
酒田	成夫56	大川	千代子
佐藤	伝作67	大川	豊子
下園	辰郎63	大川	岩雄
石田	理喜17	高松	安勢
宇都	ツツキ66	西目	利雄
新藤	テル64	新町	己之助
倉津	富雄57	坂留	ミエ
尾上	五助80	西目	マサエ
中尾	ヒツ70	山下	良雄
神田	辰次83	大川	キチクノ
牛之瀬	ソミミ28	大川	ワサ
倉津	長南57	波留	ナツキク
山崎	政広68	鶴川	内キク
川畑	イセ80	大川	厚義
徳島	次郎石門78	西目	義雄
黒坂	松吉71	鶴川	本喜
松本	小四郎78	鶴川	本喜
松本	マツ77	鶴川	本喜
松本	マツ87	鶴川	本喜
松本	マツ54	鶴川	本喜